

## 令和5年5月（第2回）教育研究評議会議事要旨

日 時 令和5年5月17日（水）13：30～14：06  
場 所 本部棟第一会議室（ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を併用）  
出席者 37／39  
欠席者 綾野副理事、豊岡医学部長

### ○ 前回議事要旨の確認

令和5年4月開催（第1回）の議事要旨について、原案のとおり確認された。

### ○ 議 事

#### 1 審議事項

##### （1）学生の懲戒処分の解除について

菅理事から、資料1（机上配付資料）に基づき、学生の懲戒処分の解除について提案があった。続けて、関係部局長から事案の詳細について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

##### （2）環境生命自然科学研究科博士前期課程及び工学部入学定員の変更について

阿部理事から、資料2に基づき、「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援<sup>1</sup>」の高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援（支援2）について、事業概要の説明があった後、本事業において大学全体の収容定員の増加を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第5期中期目標期間終了時までには他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う必要がある旨、補足説明があった。

続いて、阿部理事の指名により、難波工学部長から、令和6年度から工学部工学科に、募集人員40名の「(仮称)先進情報工学コース」を設置すること及び申請のスケジュールについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

##### （3）学級定員数の適正化を含む附属学校園（幼・小・中）の改革（案）について

高瀬教育学部長から、資料3に基づき、周辺公立校園では附属学校園よりも1学級あたりの人数が少ないという現状について説明があった後、附属学校園の組織再編（規模縮小）の必要性について説明があった。

続けて、組織再編に係る移行計画案の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 2 報告事項

##### （1）「研究准教授」の称号を付与した教員について

佐藤法仁副理事から、資料4に基づき、認定要件に該当しているものと認めた1名

---

<sup>1</sup> 成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kinoukyouka/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kinoukyouka/index.html)

の者に「研究准教授」の称号を付与することとした旨、報告があった。

続けて、学長から、本制度は研究者のモチベーションを上げるという目的があるため、各部局においても認定要件を杓子定規に判断することなく、研究推進機構のUR A等にご相談いただきたい旨の発言があった。

### 3 その他

#### (1) 次回開催日について

今回は、6月14日（水）13時30分から開催することとなった。

以上